



わった〜みんなヒーローズ!

HEROES

Haebar u Town



WIGOR
活気

笑顔が笑顔を呼んで
活気が溢れます。



Tradition

伝統

守り、育て、
創る伝統があります。



HEROES

One by one, all protagonists of Haebaru Town!



1人1人みんなが南風原町の主人公です。

ごらんください!イキイキとしたみんなの笑顔をやさしさと楽しさと誇りに満ちた未来を創造する南風原町民のみなさんです!若い力のヒーロー、ヒロインから戦後の復興に努力してきたベテランのヒーローズまで南風原町はヒーローがいっぱい生まれる町です!

Energy
元気!

元気の源は、ひとりひとりの情熱です。



Profit
潤い!

自然との調和が潤いを生みます。



Look at these vivid smiles! They are the citizens of Haebaru Town creating a future filled with kindness, happiness and pride together! From the young all the way to aged veterans who endeavored to rebuild Okinawa after the war, Haebaru is a town that gives birth to many heroes.



わった〜 みんな ヒーローズ

はえぼるの
Festival



People gathering for the sheer pleasure of celebrations - a town of cooperative spirit

Haebaru Town is rich in traditional culture passed down by our predecessors. With traditional lion dance, soul-stirring tug-of-war and old style admirable entertainment amongst many others, Haebaru is appealing as a town of a bountiful folklore culture that also holds from time to time hometown exhibitions and welfare festivals. Our city is widely appealing as a place where "people gather for the sheer pleasure of festivities."

南風原町には先人たちから引き継がれてきた民俗文化が数多くあります。伝統の獅子舞、勇壮な綱引き、古式ゆかしい芸能など、南風原町を民俗芸能豊かなまちとして内外にアピールしています。こうした民俗文化に加えて、ふるさと博覧会、福祉まつりも定期的に開催。「人が集い、祝い喜ぶ、団結心のある町」を目指しています。

人が集い、祝い喜ぶ。
団結心のある町。



太鼓フェスティバル



福祉まつり



御山の大会



かすり駅伝大会



新春演劇会



ジャズインハエバル



かすりファッションショー



夏上総大会



FMTBスイングジャズオーケストラ

南風原町の年間行事

1月
新春マラソン大会
新春演劇会
成人式

2月
ウチナーグチ大会
西郷演劇大会
ジャズインハエバル

3月
公民館まつり
トリプルはたち成人式
清明祭 (旧暦)

4月
町政施行記念式典

5月
ウォークラリー大会
5月ウマヂー (旧暦)

6月
綱引き (旧暦)

7月
少年の主張大会
盆 (旧暦)

8月
十五夜あしび (旧暦)

9月
歳上競技大会
敬老会

10月
町民スポーツカーニバル
老人・女性大運動会

11月
かすり駅伝大会
ふるさと博覧会
福祉まつり (隔年)

12月
年代別スポーツ大会

「わったあゝ町は
じょうとらじょうとら」

わった～
自慢の
まち
Haebaru
Town

A town enlivened by affluence and tradition
Haebaru Town, following the progression of urbanization, aims at making the best of its geographical advantages by attracting new businesses and industries while still developing as a convenient and charming garden city. Attracted by these charms, new residents gathered to give birth to a new community and lifestyle, with the aim of Haebaru Town being built as a hometown rich in enjoyment and peacefulness. Today, improving its function as a traffic crossroads, Haebaru is foreseeing new opportunities. Furthermore, as we communicate with the world as a contribution to peace, we send messages from our peace-loving hearts that were fostered through our long history. Re-creating with people from cities within Japan and worldwide, we are deepening our friendships with the will of creating a peaceful community.



OUR TOWN

自然と文化が生きづく田園都市

南風原町は都市化の進展にともない、地の利を生かした新たな産業を生み出し、利便性に優れた魅力のあるまちとして発展し続けています。その魅力に惹かれて人が集まり、新たなコミュニティと生活が生まれ、うるおいとやすらぎのある、ふるさととしての南風原町が築き上げられています。そして今日、交通の要衝としての機能を一層高め、さらなる発展の可能性をもたらしています。さらに、平和への貢献を果たしていくため、長い歴史のなかで培われてきた平和を願う心を南風にのせて発信し、国内はもとより海外の多くの都市の人々と友好を深め、共に生きる平和のまちづくりを進めていきます。



L I F E S C E N E

A CHEERFUL CITY GENTLE TO NATURE AND PEOPLE

Welfare

It is necessary to keep one's mental and physical health in order to lead a happy life. Supporting those who need medical treatment and assistance, we all should strive to promote others welfare in order to achieve our ideal town.



チャレンジする楽しみを見つけて

新垣 ヨシ子さん [宇津山在住]

自宅近くのビニールハウスでマンゴーの栽培をしています。これまで、カボチャ、ゴーヤー、きゅうりなど様々な作物を栽培してきました。昨年から始めたマンゴーも実を結び、今年から、ようやく出荷できるようになりました。JAおきなわ津山支店の女性部長を務めて8年目。会員同士でのおしゃべりも楽しみのひとつで情報交換しながらいろいろなことにチャレンジ。明るく楽しい農業を目指して、みんなと交流しています。



かぼちゃのケーキを皆さんに!

ケーキの店DUO 伊計 小百合さん [津山在住]

私は、津山にあるケーキの店DUOで働いています。お店の人気商品といえば、やはり津山ロールです。津山ロールは、南風原のおいしいかぼちゃを使ったロールケーキで、生地の中にかぼちゃのピューレを混ぜて作っています。これからは、地元のおいしいかぼちゃを使ったケーキをみなさんに喜んでもらえる様に作っていきたいと思います。



実感
自然と人に優しい
潤いのあるまちです。

実感

暮らしやすい環境のまちです。



美しい沖繩、南風原町のために!

工藤 優一さん [宇宮平在住]

美しい沖繩に来て早15年あまり、北海道からこの南風原にきました。私の妻は、神里です。両親も札幌から呼んで、皆、家族は南風原町民です。南物病院を開設させていただき、沖繩の皆様の優しい心にいつも触れています。病になっても、日々勉強をしていくことを忘れず、豊かな暮らしのある町とそこに育つこれからの人たちの明るい未来のため、微力ながらしっかりやっていかねばならないと思っています。



いつかホッケー留学したい。

西田 健人くん [宇宮平在住]

ぼくの町には、アイスホッケーの試合もできるスケートリンクがあります。小学校2年の時に少年アイスホッケーチーム「ドラゴンファイヤーズ」に入りました。沖繩サミットの時にはカナダの首相を招き、カナダのホッケーチームとも対戦しました。去年はカナダに行って観戦試合をしました。貴重な体験が出来たのも、南風原に住んでいたからだだと思います。ずっとカナダとの交流が続いてほしいです。いつかカナダにホッケー留学したいと思っています。



Foundation

We are promoting an advanced transportation network to meet the growing needs of residents and to promote the development of industries. Concerned with the quality of life of people residing near the main road that is Highway 58, we maintain parks and natural attractions, encouraging people to coexist with nature and providing them easily accessible opportunities for relaxation and enjoyment.

F O U N D A T I O N

A TOWN OFFERING AN EASY TO LIVE ENVIRONMENT



I N T E R C H A N G E

AIMING AT BUILDING A COMMUNITY OF RESPONSIBLE PEOPLE ON A GLOBAL LEVEL

Communication

Our warmhearted ancestors prayed for peace and they passed down to us the history, culture, and key to building a sound, prosperous community. Our ancestors also taught us to dream and to put forth our best effort throughout our lives. We must respect these messages from our forefathers to preserve the peace, all the while dreaming of meeting the challenges of the 21st century, in the areas of education, sports, and culture.



地域に愛され、選ばれる介護事業所に。

指定介護保険事業所(有)はっぴー代表
親川 郁子さん [宇宮平在住]

仕事は居宅介護支援と訪問介護があります。居宅介護支援は、利用者の立場に立ってケアプランを作成するのが主な仕事です。南風原町には、外からのサービスを受けるのに抵抗があり、家庭内で介護しているケースがまだまだあります。誰かが介護のために犠牲になる必要はないので、民生委員の方など地域の支援を受けながらネットワークづくりをしています。訪問介護は、最初に行ったときに相手がお心を開いてくれることに苦心します。「ここはいいサービスをする」ことを定着させ、地域に愛され、選ばれる事業所にしていきたいです。



学校でも地域でも歓迎してくれます。

南風原中学校 英語指導補助員
クリス コックスさん [カナダ出身宇宮平在住]

カナダから2002年に来ました。2か年滞在します。日本語を学びたかったし、日本文化に興味をもっていました。合気道も習っています。南風原町とカナダは交流があり、カナダから英語教師を招いているので、それでやって来ました。今は、生徒たちとゲームをやりながら楽しく英語を教えています。生徒は英語に対してとても積極的です。学校だけでなく、地域でも活発で、外で会っても話しかけてくれます。南風原町はコンクリートの町にも縁があってとても素晴らしい。地域の人もいい人ばかりで、みんなで歓迎してくれます。



美感

豊かな心を育てる人づくりをめざして

美感

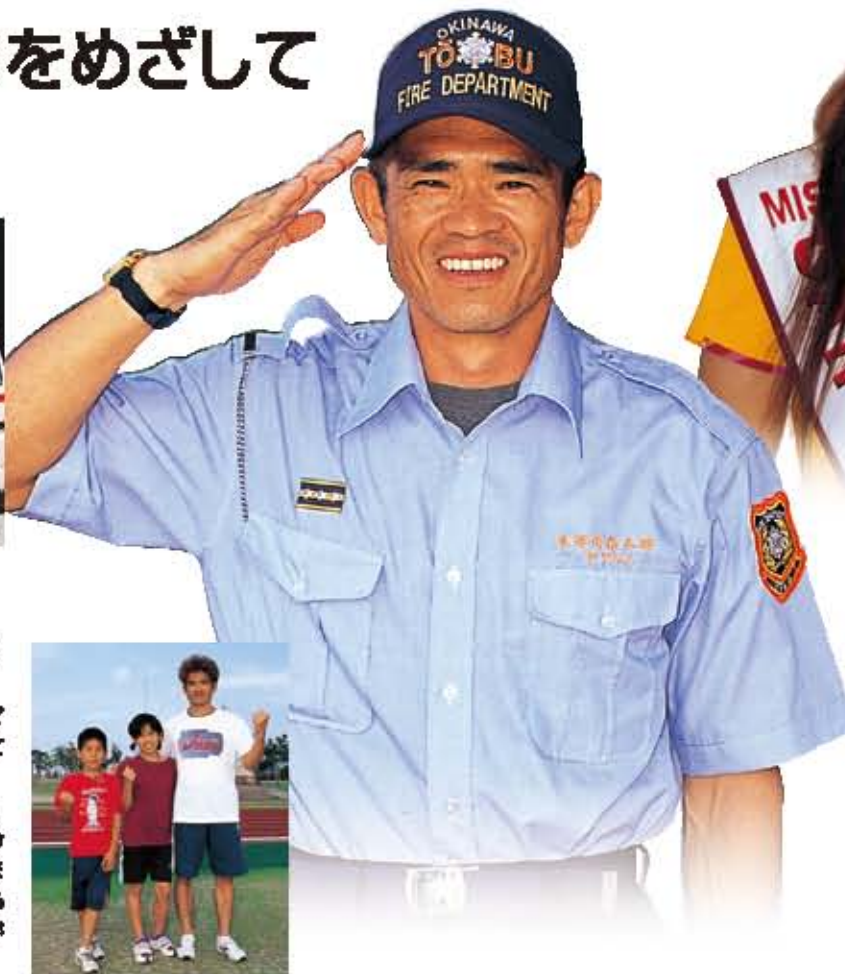
未来を拓く活力に満ちたまちです。



かけがいのない命を守りたい。

東洋消防署 救急隊員
神里 昌二さん [宇山川在住]

東洋消防署で救急隊員として働いています。趣味はスポーツ。南風原町は、賞金レース上級競馬など施設が整っているので、家族でスポーツを楽しんでやっています。私たち救急隊員の本業の仕事は、患者さんの家族など、傍にいる人の処置のバトンをもらって、状態に合わせた救命処置を行い病院の医師にバトンを手渡すことです。あくまで傍にいる人が主役で私たちは脇役なのです。人の命を救うプレッシャーのかかる仕事ですが、それだけやりがいがあります。



自然と調和した緑の多い南風原町。

2003年ミス沖縄コパルトブルー 瑞慶覧 涼子さん

ミス沖縄に応募した瑞慶覧は、沖縄は観光立県ですし、母親が観光関係の仕事をしていることもあって、沖縄の観光発展に少しでもお役に立てればと思ったからです。主な仕事は、空港や港での観光客の歓迎、県外の祭り・イベント、物産展などに派遣されて沖縄をPRすることです。

南風原町に住んで良かったと思うところは、都会過ぎず、田舎過ぎず、暑もあって便利なこと。これからはあまり都会化せずに美しい風景を守りながら発展してほしいです。



Vitality

Habaru being a center of many transportation routes, we are promoting the development of industry and the community. Areas near the expressway approaching Naha Airport, currently under construction, will be designed as a commercial area. This will attract new companies and create new jobs, but will also contribute to the development of the local agricultural business.

V I T A L I T Y

A CITY FULL OF ENERGY FACING THE FUTURE

目指します暮らしやすい 町づくり

第四次 南風原町総合計画

将来像

とものつくる「黄金南風の平和郷」

私たちは南風原町民は、地域社会への愛着と誇りをもち、そして自ら責任をもって暮らす住民として、「ともに」個々の思いを現し、意見を交わし、夢・目標に向かって一歩ずつ進んでいきます。さらに、恒久平和を願う南風原町の心を世界へ発信します。

そこで南風原町の将来像を「とものつくる黄金南風の平和郷」として掲げています。

「みんなで考え、 みんなで創るわくわくするまち」

私たちの先人は、美しい海や川、狭い大地、そして何より、お互いが助け合い、支え合うという協働精神や団結心を私たちに残してくれました。これは今日でも町民に受け継がれ、「地域の力」となっています。この地域の力を私たちの暮らしの中に生かし、後世の人々に引き継いでいくことが大切だと考えています。

私たちは、みんなで考え、みんなで創る協働のまちをめざします。このため、情報を共有し、住民と行政がお互いに理解を深め、それぞれの役割と責任で住みよいまちづくりをすすめる、新しい時代を拓いていきます。



新子料理教室



町なまつり実行委員会（高平町教育所）



島産物づくり体験学習

人もまちもきらきら育つまち

まちは自然にできるものではなく、「人」と「人」のつながりの中で創られるものです。そのつながりは地域をより良くしたい、より快適に暮らしたいという、そこで生活を営む人のさまざまな思いによって育まれます。私たちは次に掲げる3つの教育、「家庭教育」、「ふるさと教育」、「学校教育」を相互に結びつけ、その関係性をつなげていくことで、「人もまちもきらきら育つまち」南風原町をめざします。



小・中学生運動会



新南風の笑顔風上げ大会



島の風見フェア

ちむぐるでつくる福祉と健康のまち

南風原町では、住民一人ひとりが心と身体の健康を大切に、明るく健やかな明日への希望を持って生活するまち、それをまちづくりの基本にします。私たちは、福祉と健康のまちづくりに主体的にかかわっていくことにより年齢や性別、国籍にかかわらず、すべての住民が進んで社会参加し、介護や障がいが必要な人にはその自立にむけて、地域ぐるみ町ぐるみで支援ができるまちをめざします。そして一人ひとりのしあわせのために、みんなが自分のできる役割に参画する福祉のネットワークづくりを推進します。



下水道見学の親子体験学習



工夫と連携で産業が躍動するまち

南風原町は、農地と市街地が共存しています。その特徴を活かし、これからの産業振興において、灌漑の取れた農地利用や、都市基盤と地の利を活かした新たな賑わい・活力づくりなど、大きな可能性を持っています。そこで私たちは、産業の活力を、工夫と連携によって生み出される個性と魅力で引き出し、個々の産業が自主的に力を発揮し、産・学・官・民の連携により、自立した活力と働く場をつくる「工夫と連携で産業が躍動するまち」をめざしています。

みどりとまちが調和した 安心・安全なまちづくり

人は暮らしの質に安心・安全を求め、さらに利便よく快適さのある暮らしを望んでいます。私たちは、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを基本として、南風原町に選んだ三大産（新川魚、黄金茶、高嶺山産）などの貴重な自然と都市の利便性が共存し、うるおいを感じる「みどりとまちが調和した安心・安全なまち」をめざします。

環境と共生する 美しく住みよいまち

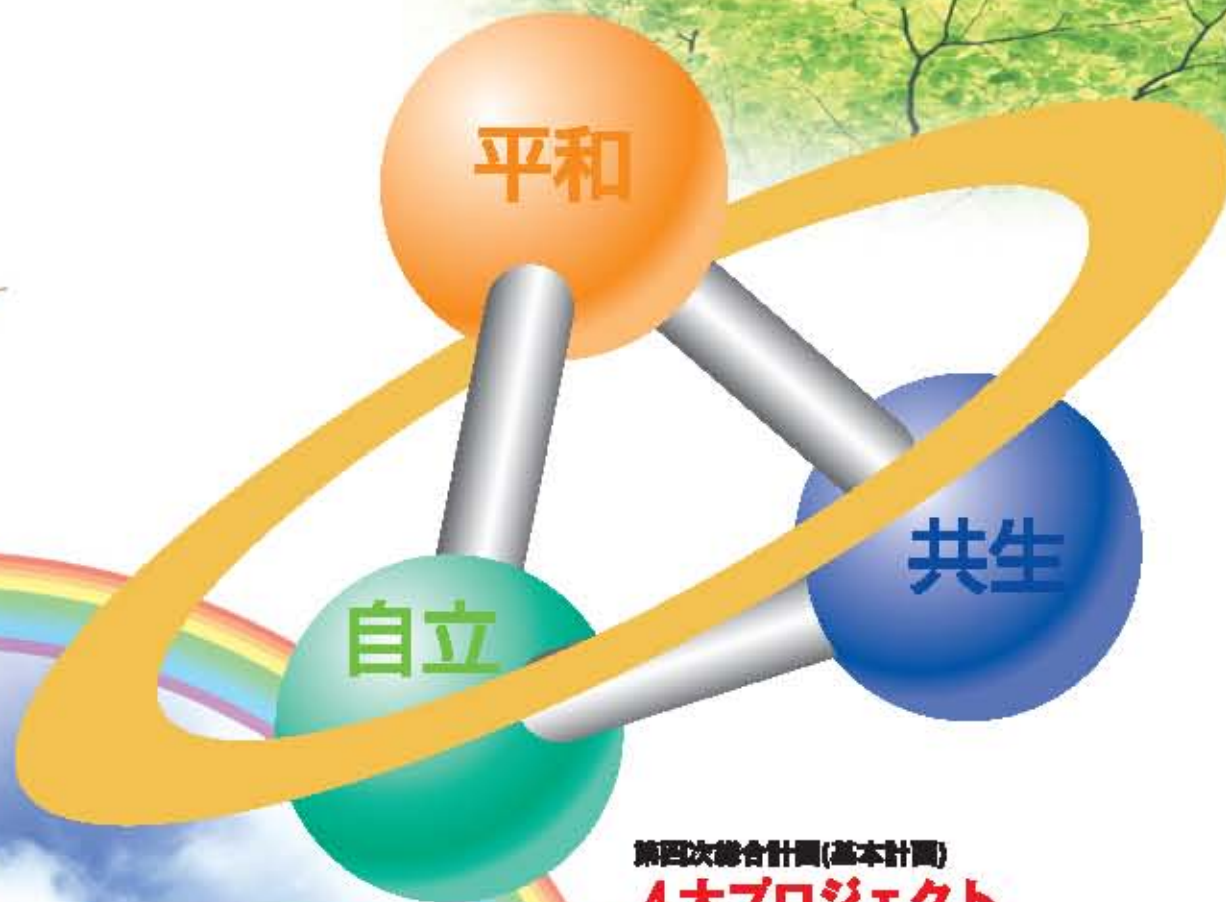
私たちは心豊かな生活を営む上で、環境が重要な要素だと考えています。これまで、南風原町では住みよい生活環境の整備に取り組んできましたが、都市化の進展などに伴い、身近な日常生活の環境悪化が心配されています。さらに、地球の温暖化、オゾン層の破壊など、私たちの生活している地域を越えて地球規模での環境問題が深刻になっています。このため、私たちの身近な生活環境や地球環境を共有の財産として将来にわたって引き継いでいくために、「環境と共生する美しく住みよいまち」の創造をめざしています。



南風原町の基本理念

「平和」「自立」「共生」

夢を実らせる着実な実行力と、情熱があります。



「平和」

私たちの祖先が平和を強く願ってきた心は、豊かなコミュニティ社会や歴史的・文化的遺産として、今日でも住民に受け継がれています。私たちはこうした遺産を、暮らしのなかに活かすとともに、世界の恒久平和を願うわがまち南風原の心を、国内はもとより世界へ向けて発信し続ける、平和なまちづくりをめざします。

「自立」

豊かな実りと繁栄をもたらすと云われる南風が薫々と流れる南風原は「明衣伝説」、「飛び安風」の伝承の地です。私たちは、夢と希望をもって大空へ羽ばたくロマンとチャレンジ精神を受け継ぎ、うるおいをもたらす南風を活かして、新たな時代のなかで、自立できる活力、地域力のあるまちづくりをめざします。

「共生」

私たちの祖先は、豊饒な丘を背に、住み心地良い暮らしや、豊饒な土地での畑づくりなど、自然と調和して暮らす知恵を蓄けてきました。また、人々はお互いに支えあい、回贈してムラづくりをすすめてきました。まちの顔が移り変わる中で、私たちは、改めて、自然との調和、人と人とのつながりなど、色々な場面で自然や人と共生した暮らしを再生・創造していくまちづくりをめざします。

第四次総合計画(基本計画)

4大プロジェクト

(基本計画期間/平成19年度～平成23年度)

第四次総合計画は5年間の基本計画の中で、平賀親類の大きい事業、また5年間で集中的に投資すべき事業、連携を回り相乗効果を生み出す事業を抽出し、全力を挙げて推進していきます。特に南風原町のシンボルである黄金森を拠点に連携して取り組む事業は、総合計画の中で「平和学習・観光・健康・交流ゾーン」として位置づけておりますので、関連業と情報の共有を回り重点施策として進めます。

黄金森公園の整備

陸上競技場や野球場などを整備し町民から親しまれている「黄金森公園の整備事業」については、スポーツ振興や健康増進拠点として、今後も整備を進めます。公園面積は現在(平成19年3月)20.5haとなっております。この場所に文化センター(仮称)を移転建設し、平和と文化の発信拠点とします。

平和・歴史文化学習、観光拠点の形成

文化センター(仮称)の移転建設と、南風原陸軍病院跡の公開により、南風原町の歴史や文化をより多くの方々に発信します。特に南風原陸軍病院跡の公園においては、地域内の人を育成しながら、町内を始め県内外の方々の平和学習の場として活用します。また、平和学習と併せて歴史・文化学習や、伝統工芸品である琉球かすりの工務を訪ねるなど、地域資源を活かした観光などにも力を入れます。

総合保健福祉センターの整備

乳幼児からお年寄りまで全ての町民の健康づくりの拠点として、健康相談、健康教育、健康診査など保健活動が総合的に進められるよう、また多くの住民が参加や参画し、共に支え合う活動の場となるように、地域福祉の拠点として総合保健福祉センターの整備を進めます。また、この施設は災害時に避難所として利用できる防災の拠点としての機能も持ちます。

津嘉山北土地区画整理事業の推進

津嘉山北土地区画整理事業については、うるおいのある良好な居住環境の形成と、にぎわいと活力のある良好な商業地の形成を図ることを目的として整備を進めています。それにより、安全で快適な利便性のある都市空間を創り出します。

19 南風原町の行政区紹介

19 WARDS OF JIAEBARU TOWN



各行政区の名所、サークル等を紹介します。

南風原町には、現在、19の行政区があります。それぞれの公民館や集会所を拠点に、活発な地域活動が展開されています。運動会や祭り、共同作業などの行事を通して、親睦と団結をほかり、誇りを守り育てているのです。ここでは、それぞれの自慢をとりあげてみました。



与那覇 Yonaha

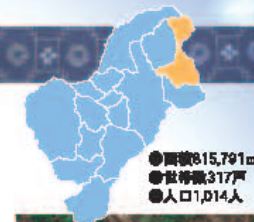


ウサン塚

浦島太郎伝説

ここには神代には珍しい浦島太郎伝説が残っている。昔々、白壁で白ひげの杖をついた老人がやって来た。老人は自分の家もわからないので、部落民はちょっと頭がおかしいのではと思っていた。ある日、老人がウサン塚に登った。2〜3日しても戻って来ないので部落民が行ってみると、杖だけ残して老人はいなくなっていた。それで神代だったんだとわかり、部落民で墓を造った。今でもウサンシーの墓と呼ばれ、大切な御願所のひとつになっている。

宮城 Miyagusuku



御宿井(ウスクガー)

御宿井と羽衣伝説

字の東方に御宿井(ウスクガー)という井戸があり、「羽衣伝説」が残っている。昔、大國大主という農夫がいた。ある日、井戸の側を通ると、美しい天女(舞殿の姫)が水浴しており、そばの木の枝に羽衣が掛けてあった。大主はその羽衣を家に持ち帰った。そこで天女は天(舞殿)に帰れず、大主の求めるままに結婚し、子どももできた。しかし、数年たつてから、天女はかくしてあった羽衣を見つけ、泣き叫ぶ子を連れて、天に帰ってしまった。

北丘ハイツ Kitaaka Heights



若獅子会のメンバー

若獅子会

「若獅子会」というのがある。これは自治会の役員を終えたOBたちや有志たちが「北丘をよくしていこう」と横合を中心にした会だ。15年も続いており、現在メンバーは約30名いる。同会の横合情報誌は110号まで発行している。(現在は休刊中)
また、同会が結成の頃植えた桜、桃、ツツブキ、ユリなどの花木が、季節になると美しく咲き、住民の目を楽しませている。

東新川 Higashi Arakawa



地域清掃会

まちづくり委員会

東新川は小さな区だが、自分たちの力でいいまちにしていこうと「まちづくり委員会」を1999年に発足した。委員会では去年、まちづくりの参考にするため、宜野座村の産業・施設・祭りなどを視察した。また定期的に勉強会も開いている。まちづくり委員会と自治会が一緒になって行っている地域清掃会はもう15年くらい続いており、子どもからお年寄りまで延べ約30名が毎年参加している。清掃会の後には学児奨励会も行い、子どもたちに喜ばれている。

大名 Oona



大名ヒージャガー

ヒージャガー

井の側にある石碑によると、井の前の道が雨天時に往來が難渋するので1769年に改修し、桶川を築かせたという。また、王妃が久高島に向かう途中休息して水を求めたところ、美味の湧水があったのでこれを賞賛して碑を立てさせたという伝承もある。
戦前までは周辺住民の大切な生活用水だったが、現在はあまり利用されなくなった。それでも、旧9月9日のウマチーの夜には区民全員で御願をする心のよりどころになっている。

新川 Arakawa

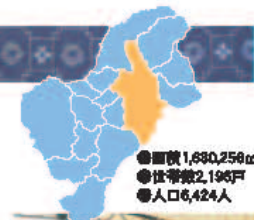


縦断駅伝大会(奥)

奥・新川縦断駅伝

神楽本島の北の端・奥から新川までの縦断駅伝が17回を迎えた。毎年1月中旬に行われており、子どもからお年寄りまで80〜100名も参加する。もともと区のマラソン好きが集まって始めた行事。年々参加者が増え、区民の親睦を深める一大行事となっている。
駅伝終了後は公民館で慰労会が開かれ、お互いの健闘をたたえあい、さらに親睦を深めあっている。

宮平 Miyahira



宮平の獅子舞(六尺)

獅子舞

宮平の初代の獅子は首里王府から拝領したものと伝えられているが、年代もはっきりせず、今次大騒で行方不明になった。現在の獅子はハワイの宮平出身者の有志によって、1950年に奇蹟されたものである。舞方には7種あり、特に「獅子」「方クジシリ」は、見ごたえがあり、他には獅子をみない。毎年八月十五夜の村遊びで演じられるほか、近年は県内各地のまつりに出演し、宮平の獅子舞に対する評価はますます高まってきた。

宮平ハイツ Miyahira Heights



◎世帯数 110戸
◎人口 432人



子供夏まつり

子ども夏まつり

宮平ハイツでは毎年夏休みに「子ども夏まつり」を開催している。子どもから大人まで一緒にエイサーを演じ、みんなで楽しむ。住民の約90%、300人ほどが参加する大きなイベントだ。午後6時から8時まで子ども中心の時間、それ以降10時まで大人たちの憩いの時間となる。

ハイツでは毎年12月中旬の土曜日にクリスマスパーティも催している。これも子どもたちがほとんど参加する楽しい行事になっている。

蕨城 Kanagusuku



◎面積 10,089㎡
◎世帯数 1,230戸
◎人口 4,988人



蕨城の舞方棒

舞方棒

蕨城の舞方棒は、八月十五夜の村遊びを遺して先祖代々受け継がれてきたものである。棒には「星の手」「神聖手」の二つの型があり、「大遊び」の時は、型はいろいろ舞台踏みとして、開幕・中継・閉幕の3回演じられるが、この二つは棒に対して置かれるという特徴を持っている。技は前半は一般的な手で、後半に実践格闘を際立たせたような特徴のある技が見られる。また、推進するときの足を力強く踏みならすところなどは、古式を思わせる。

津嘉山 Tsukazan



◎面積 17,964,495㎡
◎世帯数 2,293戸
◎人口 8,920人



津嘉山の綱引き

綱引き

津嘉山の綱引きは、中国から製塩業者をならせてきた南山王が、当時最も田の多かった津嘉山に伝えたといわれている。以来、毎年旧暦8月26日に行なわれ、晴前、朝作がさかんな頃は、7年ごとに大綱引き(旧暦8月18日)をする例になっていた。区民は製塩業者の戦力月前から準備を始め、当日は男たちは手に大尺棒を持ち、女たちは鼓を打ち鳴らしながら、綱引き歌をさかなく繰り返す一列の行列が繰り広げられる。

喜慶武 Kyan



◎面積 714,498㎡
◎世帯数 2,387戸
◎人口 1,220人



喜慶武の綱引き

綱引き

旧暦8月25、26日に行なわれる喜慶武の綱引きは、まさに真夏の勝負！ そのため「けんか綱引き」の名で知られている。当日の準備は午後10時ごろになってからで、県内では珍しい深夜の綱引きだ。綱引きの音が響くなか、「サアーイ」「サアーイ」のかけ声にあわせ、若い者も無敵夢中で綱を引く。綱を引る者までけんか状態の陣営も、終わる頃には、区民としての団結心が固まり、綱引きを奏する声が変わってゆく。

兼本ハイツ Kanemoto Heights



◎世帯数 261戸
◎人口 712人



兼本ハイツ卓球愛好会

卓球愛好会

兼本ハイツ卓球愛好会(会長・赤坂直一)は、平成9年に結成され、現在12名の会員がいる。毎週日曜日に集会所で練習して腕を磨いている。同愛好会は毎年、自治会の新年会、敬老会、夏まつりに出席し、喜ばれている。また、町のフェスティバルに出展した実績もある。

兼本ハイツには他にも囲碁、ゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボールなど10くらいの同好会があり、それぞれ活発に活動している。

第2団地 Second Housing Complex



◎世帯数 422戸
◎人口 1,877人



卓球同好会の皆さん

卓球同好会

卓球同好会(会長・赤井清)は、8年前に発足。現在団地以外のメンバーも加えて8名くらいで、毎週金曜日に健康と娯楽をかねて卓球に汗を流している。

卓球といえば、自治会では毎年春休み卓球大会を開催している。これは各代表(小学生1名、中学生1名、高校生以上男女1名ずつ、一般1名の5名)の競技で、子どもたちの健全育成もかねて行われている。

慶原 Kebaru



◎世帯数 25戸
◎人口 80人



南風原入り口へと続く片側自動車道

沖縄自動車道

慶原は鹿港製糖後に誕生した首里の士族の邸政邸で、比較的歴史の新しい小さな区だ。その地名ついた区に変化が起きた。沖縄自動車道の南風原入口ができ、区が2つに分断されたのだ。町の発展の象徴でもある自動車道だが、その建設でケブルもそこにあつたガジュマルの大木もなくなったこと、区民は少し残念がっている。しかし、自動車道は区が大きく変わっていく契機であることはまちがいない。

照屋 Teruya



◎面積 234,827㎡
◎世帯数 448戸
◎人口 1,364人



舞方棒(アブシの手)

舞方棒(アブシの手)

照屋の舞方棒には「アブシの手」と「北谷の手」の二つの型があった。近年は「アブシの手」だけが年中行事と祝祭の場や舞台で演じられている。「アブシの手」は、十文字に書く型で、大きな変化や特技はみせず、打ち・受け・突きを主とした均整のとれたスマートな舞で、技と動きを力強くつめて演じる特徴を持つ。「アブシ」とは、田畑の畦のことで、若衆匠たちは、畦の交差点で動作する気持ちで演じるように教えたとする。

第1団地 First Housing Complex



◎世帯数 234戸
◎人口 728人



つつじ祭りへピクニック

ピクニック(つつじまつり)

第一団地では2~3年に一回ピクニックを開催しているが、今年(2003年)は3月28日に東村のつつじ祭り見学に行った。子供からご年配まで年齢78名が参加。綺麗なつつじを楽しんだ。また、国産紅毛虫の産地大崎のヒル平林も見学した。

団地の他の行事には2年に一回の「おけいおけ大会」や夏休みの「盆踊り」、また「新1年生歓迎会」や「中学3年生を送る会」などがある。

本部 Motabu



◎面積 418,288㎡
◎世帯数 234戸
◎人口 1,244人



かすりの道

餅ロード

本部は喜慶武、照屋と並んで昔から餅の名産地として知られている。この3字には、平成4年に完成した餅ロードと呼ばれる美しく舗装された道がある。道を歩くと、どこからともなく「シャーラ トントン」と餅を踏むなつかしい音が聞こえてくる。本部の餅ロード沿いには、餅にかかわる業者が23業者あり、昔ながらの技技を守っている。また、かすり会館や餅物工房もあり、伝統工芸の明日を担う後継者も育てている。

山川 Yamagawa



◎面積 494,810㎡
◎世帯数 255戸
◎人口 867人



グランドゴルフ愛好会の皆さん

グランドゴルフ愛好会

山川グランド愛好会は、老人会が中心になって2002年11月に結成された。会員は約20名で毎月第三土曜日に山川体育センターで練習に励んでいる。山川にはその他に、読書愛好会、ひまわり会(読書、民謡)など定期的に活動している愛好会がいくつかある。主な行事は1月のスポーツ新春大会(グランドゴルフ)、7月の綱引き、8月の餅祭り、11月の区民運動会、12月の盆踊りまつりがある。

神屋 Kamizato



◎面積 767,242㎡
◎世帯数 377戸
◎人口 890人



青年会エイサーの皆さん

青年会エイサー

神屋のエイサーの歴史はそう古くはない。約20年前に玉城村真武島から移ったものだ。だが、青年部に一部高校生も加わった26名の団員の若さは活発だ。主な舞合は、旧壺ウーケイの道ズネー。その日のために3ヶ月も前から、毎日練習が続けられる。その他町の「ふるさと祭り」や「盆踊りまつり」など、また本土でも演じた。その迫力ある演奏で好評を得ている。

はえぼる 東西南北 Town Map

風土と歴史、協調性と団結心が今も受け継がれている町。
A town of great natural features and history,
where the spirit of cooperation is strongly preserved.



1 南風原町役場 [41F周辺内容]
南風原町を訪れた際はどうぞお気軽にお寄りください。心を込め、ご案内いたします。
Haeburu Town Hall
Why not visit our town hall when passing through Haeburu Town? You are always welcome.



2 ショッピングエリア
いろんなショップが立ち並ぶ通りはバリエーションが豊かです。
Shopping Area
Our streets filled with shops and stores offer variety and charms to all.



3 飛び安里記念碑 [5F周辺内容]
「200年前に世界で初めて空を飛んだ男」といわれる飛び安里の記念碑。小高い丘の上には、かつて当時の飛行風景がイメージできます。
The Tohi Asato Monument
This monument is dedicated to Tohi Asato, said to be the world's first man to have ever flown, 200 years ago. Located on a slightly elevated hill, the monument is an image of the flight at that time.



南風原町の農家
生産日本一のへちまやストレリチア、生産量第一のかぼちゃなど、県内でも良質な作物を生産しております。
Farmers of Haeburu Town
Haeburu is Japan's number one producer of gourd and Btd of Paradise flowers and Okinawa's leading producer of pumpkin, among others. Haeburu is known as a producer of quality farm products.



4 町立南風原文化センター
町民はもちろん、県・国内外からも年間2万人の方々を訪れ文化創造・交流の場として活用されています。 [30~36F周辺内容]
Haeburu Town Cultural Center
Visited by more than 20,000 people from both Haeburu and outside, this center is a place for exchange and culture.



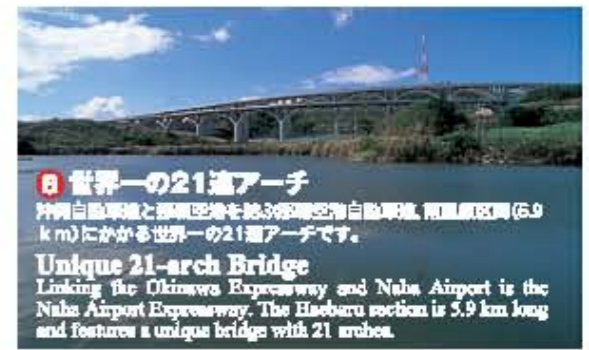
TEL 098-898-7399



7 スポーツワールドサザンヒル
県内唯一のアイススケートリンクがある施設。ウィンタースポーツが楽しめるスポットとして大人気です。
Sports World Southern Hill
Okinawa's unique and popular ice-skating rink is located in Haeburu Town, allowing anyone to enjoy winter sports.



南風原町の文化財
石獅子(有形文化財)や摩文仁家の墓(指定文化財)など数々の文化財が南風原町には残っております。
Cultural Properties of Haeburu Town
Haeburu Town has numerous cultural assets, among which are a stone lion-dog (Tanghulu Cultural Property) and the Mabuni family tomb (Designated Cultural Property).



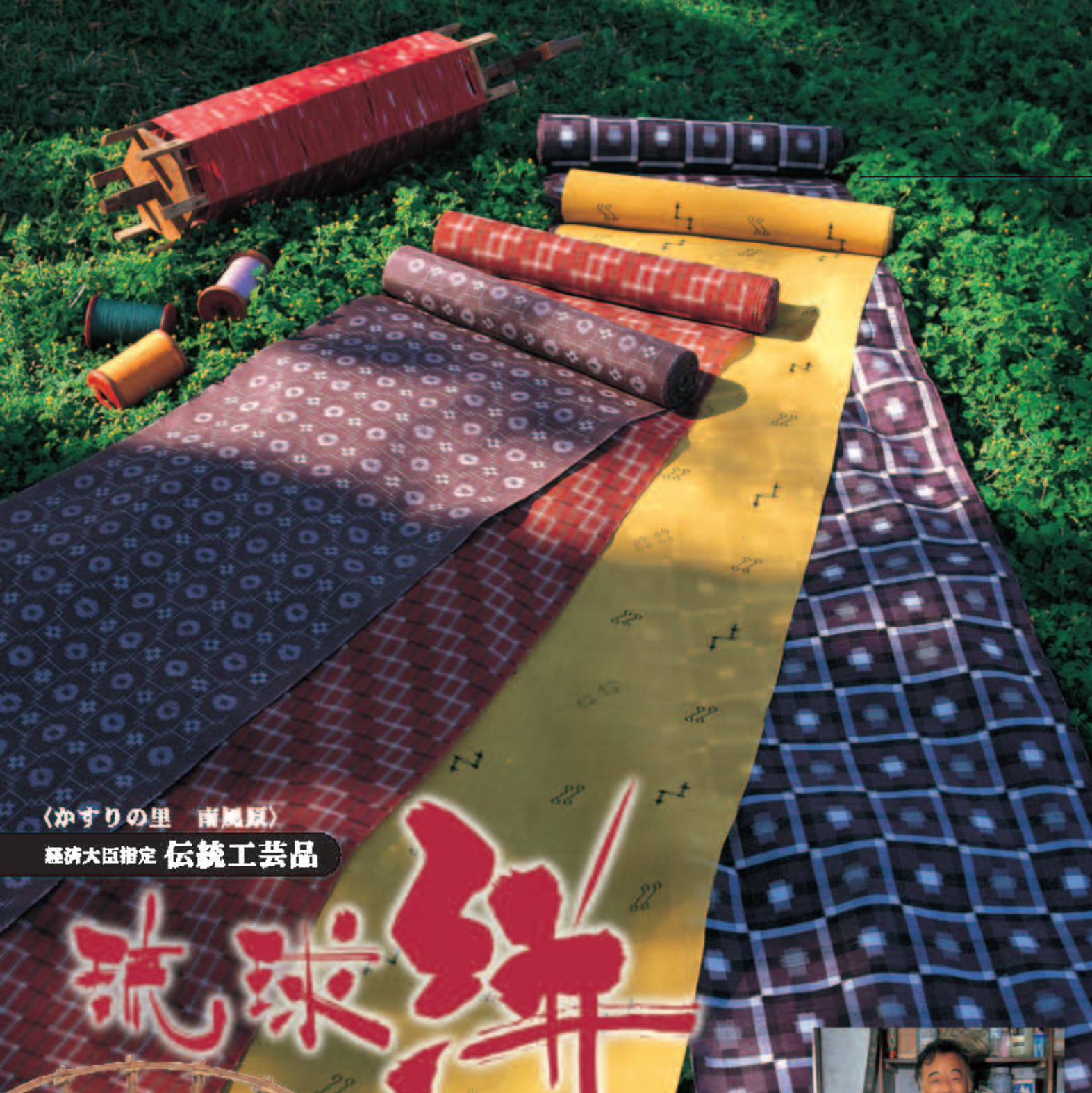
8 世界一の21連アーチ
沖縄自動車道と那覇空港を結ぶ3号那覇空港自動車道、南風原区間(5.9 km)にかかる世界一の21連アーチです。
Unique 21-arch Bridge
Linking the Okinawa Expressway and Naha Airport is the Naha Airport Expressway. The Haeburu section is 5.9 km long and features a unique bridge with 21 arches.



6 黄金崎陸上競技場
平成18年に開設され、広く利用されており。また、周囲に広がる緑豊かな風景は練習後の癒れを齎してくれます。
Koganemori Athletic Field
Built in 0000 it is presently widely utilized, while the surrounding rural scenery is ideal for recovering after physical exercises.



5 琉球かすり会館 [25F周辺内容]
昭和65年に開設された「琉球かすり会館」は、原料糸、染め、糊付けの共同購入、共同販売、後継者の育成、技術研修などの事業を行っております。また、会館近辺は「かすりロード」と呼ばれ「シャワー トントン」と懐きの音が響きわたり風情があります。
The Hall of Ryukyu Kasuri
Built in 1980, the Hall of Ryukyu Kasuri offers the necessary material for weaving such as thread, dyes and fabric implements. It also has goods for retail, promotes the education of successor artists, and offers technical training programs. Also, don't miss the elegant "Kasuri Kintan" close to the hall.



〈かすりの里 南風原〉
経済大臣指定 伝統工芸品

琉球絺

Ryukyu Kasuri (splash pattern)

大交易時代に琉球(沖縄県)に入ってきた絺織りの技術。
長い歴史を経て、今その伝統は南風原町に着実に受け継がれている。



琉球絺織り協会 理事長 大城一夫
「琉球かすりの裾裾らしさを県内外の方々に広く知ってもらい、愛を持ってほしい」と語る大城理事長さん。琉球かすりの伝統を守り、普及のために思い切った活動を展開しています。



かすり会館(2階は町民のためのかすり教室)

ひと糸、ひと織、丹念な手仕事の美 琉球の技と心が、南風に乗って...



琉球かすりの歴史

遠くインドに源を溯し、東南アジア各地に広がった絺が、琉球王府時代の大交易時代の波に乗って、沖縄に入ったのが14世紀~15世紀ごろ。それ以後、中国・日本や東南アジアの影響を受けながらも、琉球の気候・風土にマッチした独自の絺が沖縄各地でつくられ、その絺が、海を越え、薩摩絺、久留米絺、米沢琉球絺、伊予絺など日本の絺のルーツとなりました。

History of Ryukyu Kasuri

With roots in India, splashed patterns spread throughout the whole of Southeast Asia to land in Okinawa between the 14th and 15th Centuries, at the time of the Great Age of Trade of the Ryukyu Kingdom. From there, while being influenced by China, Japan and Southeast Asia, and matching the Ryukyu Islands' climate and natural features, unique splash pattern textiles were produced throughout Okinawa. These patterns once again crossed the sea to become the roots of Japan's splashed patterns such as in Satsuma Kasuri, Kurume Kasuri, Yonagawa-Ryukyu Kasuri and Iyo Kasuri.

琉球かすりの特徴と技法

琉球かすりの大きな特徴は、およそ600種という多様な図柄。これら爽やかな涼感をさそう幾何学模様の図柄は、琉球王府時代から伝わる「御旗図柄」をもとに、職人たちが現代の感覚を取り入れて、オリジナルをつくりあげます。

この図柄をもとに、糸を染め上げる時、少しずつ束ねた糸を計算された間隔で、模様の部分を1か所ずつ手拵りしてめあげていくという大変手間のかかる方法で、独自の絺織機をつくります。

縞りは、緯糸を縦糸の間に投げ込んで織っていく昔ながらの技法で、1日せいぜい2mぐらいつつ丹念に織りあげていきます。



Characteristics and techniques of Ryukyu Kasuri

The major characteristic of Ryukyu Kasuri is the approximately 600 types of multi-colored patterns. Geometric pattern designs reflecting fresh and cool feelings have been transmitted since the Ryukyu Royal Administration period according to a "Mimas-cho" - a design book, artisans incorporating contemporary senses to create original fabrics.

With those designs as backbone, before dyeing the whole threads, each design part is hand tied one-by-one at calculated intervals on threads that are little by little tied up in bundles. This method requires a great deal of time, yet allows for the creation of unique Kasuri designs. The fabric, woven by throwing weft threads in between warp threads, is made by utilizing an old technique, enabling one to at best meticulously weave approximately 2 meters of fabric per day.



かすりが出来るまで Process of manufacturing Kasuri



① 企画とデザイン
Design and Planning
発案・企画や色々の調整など、発案から染色の準備までを作成する。



② 織機
Weaving
図柄と緯糸を割りだし、それぞれに緯糸の長さに調整する。縦糸1本に1本1本織り込んで、緯糸を縦糸に合わせ、緯糸を織り込む。



③ 巻くくり
Spinning
あらかじめ緯糸を作り、それに合わせて手で巻くくりを行う。



④ 染色
Dyeing
染料、草木、グルー、デコカラー等の染料を使い、多量に染色する。



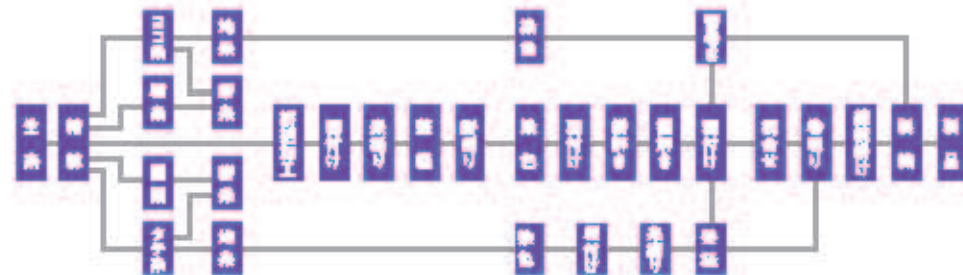
⑤ 絺織仕上げ
Finishing
糸を染めた緯糸を去る、糸を長くする、緯糸を織って仕上げを行う。



⑥ 製織
Weaving
本職人により手拵りを行い、製織を合わせる。



⑦ 製品検査
Inspection
作り上げたものを検査し、製品検査場で、色味、長さ、幅、厚み、織り、地味、染料等について、ベテランの検査員によって品質を確認します。



1番もの Specialty Products

わったまのまちの

上等



南風原には沖縄No.1、日本No.1がいっぱい



かぼちゃ 生産 沖縄一

おいしくて栄養もたっぷり
南風原かぼちゃは本土で好評です。

南風原町は「かぼちゃの里」として知られ、県内生産の約60%を占め、沖縄一を誇っています。南風原かぼちゃ(熟期:えびす)の特徴は、太腰をいっばいに並び太皮脆かぼちゃで、栄養素に富み、味がいいこと。そのため、本土市場で好評で、生産高の80%を本土出荷しています。出荷は区内産が品薄になる8月下旬から6月中旬まで続き、高値で取引引きされています。



スッパイマン

沖縄代表駄菓子No.1



今、沖縄で全国的に人気を集めている駄菓子。それがスッパイマンです。スッパイマンシリーズには4種類の乾燥梅干しと梅キャンディー、黒糖梅キャンディーがあります。これらの商品はブームになったのは、長年にわたる企画見本の、集産フェア街が下火となり、キャラクターの「スッパイマン」で火がつかれた。今では県外出荷が7割になっています。「商品を守るには攻めしかなければ」と上岡社長は自信をもって語りました。TOWN MAP 23p



王府 伝来

南風原花織

可憐な模様は花のように美しく

南風原には昔の昔に花織の技術も、明治の頃から県外へと伝承されてきました。その大正時代には高麗武八織、南風原花織など独自の花織、洋織の技法を確立しました。南風原花織の特徴は、藍色に県内の琉球藍、黒木、テカチ等の植物染料を用いることです。また、ヤシラミ織、ケファンクワ織、タッパリーなどを、産地にしか存在しない名産があり、その模様は花のように美しく繊細に立体的なイメージがでて華やかな印象を受けます。

伝来 日本初



南風原には昔の昔に花織の技術も、明治の頃から県外へと伝承されてきました。その大正時代には高麗武八織、南風原花織など独自の花織、洋織の技法を確立しました。南風原花織の特徴は、藍色に県内の琉球藍、黒木、テカチ等の植物染料を用いることです。また、ヤシラミ織、ケファンクワ織、タッパリーなどを、産地にしか存在しない名産があり、その模様は花のように美しく繊細に立体的なイメージがでて華やかな印象を受けます。



琉球 丹念

丹念な手仕事の美



生産 高 日本一

ナーベラー

沖縄を代表する夏野菜
本土出荷も始めています。

ゴーヤー(ニガウリ)と並ぶ沖縄の代表的夏野菜、ナーベラー(ヘチマ)。その県内生産の約30%は南風原産で沖縄一です。ということは、本土ではヘチマを食用にしないので、南風原町は食用ヘチマ生産日本一ということになります。本土ではまだダマシとしてのイメージが強いヘチマですが、ゴーヤーが本土でも知られるようになったように、本土出荷も徐々に開始しています。



生産 高 日本一

極楽鳥花 ストレリチア

独特の形と鮮やかな色彩
「華かしい未来」を予感させる花です。

南風原は南国の王冠の花、ストレリチアを生産し、その栽培は本土産として初めて日本初です。ストレリチアは和名鳥の舌花のことで、本土では食用にせず、正月飾りとして人気を集めています。南風原町ではストレリチアの栽培が盛んになり、県内生産の約30%を占めています。また、その鮮やかな色彩と独特の形が、華やかな印象を受けます。



南風原町の 文化財

Cultural Assets of Haeburu Town



南風原町には豊富な伝統文化と歴史が今なお息づいています。南風原町には歴史的に価値の高い、かけがえない共有財産である有形文化財、史跡、天然記念物が数多く残されています。町ではこれらを大切に守り育て、文化の香り高いまちづくりを進めています。

Haeburu Town has a rich tradition and cultural history that is still alive today. Haeburu Town has high historical value with tangible cultural properties that are irreplaceable, historic sites, and many natural monuments preserved. The town is working on preserving these treasures to promote Haeburu as a municipality of high cultural sense.



大名ヒীগaaと石碑 [史跡]
 首尾に向かう日新道路脇にある共同井戸、駒文によると、この道尾は雨天時に氾濫で埋没するので1786年にこれを改修し、欄干を築かせたそうです。
Oona Village Hiীগaa and Commemoration Stone



石獅子 [彫刻・本郷・同郷A・同郷B]
 石獅子は巫女の対象へのケーシ(巫し)、つまり鎮静げと供えられ、村鎮などに置かれます。南風原には東城に1基、本郷に1基、同郷に2基の計4基が置かれています。
Stone Lion

宇平橋碑 [史跡]
 琉球王朝時代の王府が建てた石碑として、6番河に古いもの、沖縄離でも割れずに完全な形で残っているものでは最古の碑です。
Uhei Bridge Commemoration Stone

庫文仁家の墓 [史跡]
 尚貞王の第二子尚孫(庫文仁家の祖)の墓として、17世紀に造られました。墓室入口が広く、天井を本堂の手抄を用いて平天井にしてあり、この形式の墓は県内でも他にありません。
The Mabuni Grave



南風原陸軍病院跡 (部分写真・地下部分)
 第22軍直属の病院で、正式には沖縄陸軍病院ですが、南風原にあった関係上こう呼ばれています。1990年戦争の遺物さを伝える館として、南風原町の文化財に指定されました。
Haeburu Underground Army Hospital Caves



中毛小のガジュマル群 [史跡]
 宇高屋敷の中毛小には5本のガジュマルの大木が並んで生育し、そのうち3本が四方に枝を広げています。
Nakamoogawa Gajumaru Grove



御宿井 [史跡]
 御宿井は「羽次加那」の海軍井戸で、周辺からはファンゲ上層式土層や環車、青磁片などグスク時代の出土品も出土歴史的に価値の高い文化財です。
Miyuki Well



フクギ塚 [史跡]
 1871年頃、尚寧王が各所に墓所を設け、南風原の墓所もその時に設置されました。現在、墓所跡に道端に沿って7本のフクギが残っています。
Fukugi Grove at the Haeburu District Royal Government Office Ruins



修宮城橋神 [史跡]
 町内に残存する石碑として、かつて交通の要所として重要視された南風原を渡りける貴重な文化財です。
Syuu Miyagusuku Bridge Commemoration Stone



印部土手石 [史跡]
 尚寧王府の時代から明治にかけて、田畑を測量する基準点として設定された石で、南風原町からは4個発見されています。
Iribe Field Boundary

南風原の文化財
文化財解説書3冊
町内各所の文化財を解説した冊子
B5判、64頁、600円
問い合わせ/南風原文化センター
098 (889) 7399

南風原町の先駆者

Pioneers of Haeburu Town

世界で初めて空を飛んだ人、
ウルトラマンの生みの親、海外で活躍した人たち…。
はえぼるには、誇りにする人がいっぱいいます。

世界の
飛人

世界で初めて大空を飛んだ男
飛び安里

「鳥のように自由に自由に大空を飛びたい」。これは洋の東西を問わず、昔から人類が抱いた夢でした。その夢を約200年前に世界ではじめて実現させた人がいたのです。「飛び安里」といわれる人で、実験で津嘉山の仕立森(現津嘉山小学校)から津嘉山公民館(1501200)まで飛んだといわれています。
ライト兄弟より実に116年も前のことです。

The first man ever to have flown both to the East and the West, flying free as a bird has always been man's dream. 200 years ago, a man known as "Tobi Asato" accomplished this for the first time in the district of Tsukazan. He is said to have flown from where the actual Tsukazan Elementary School stands to Tsukazan Public Hall, a distance covering some 150-200 meters. That was 116 years before the Wright brothers.



飛び安里記念碑

FLYING ASATO

どんな飛行機だったのか？

「飛び安里」の飛行機は、鳥の生肌を調べ、弓の弾力を利用して、弓を水手に支柱に取り付け、弓上にトリの翼形の羽根を張って、これを足で上下して飛行するものでした。初飛行のとき、調子よく舞い上がり、ぐんぐん上昇したため、妻に託していた命綱の余裕がなくなり、妻があわてて急激に綱をたぐったため、バランスを失い、急遽に下降、自宅の台所付近に落ちたという話があります。

What type of plane did he use?

After studying birds, "Tobi Asato" built a plane using elastic arches, setting up stretching wings like those of birds on top of an arch, wings that were activated by flapping his feet up and down. It is said that for his first flight, he was able to fly high in the air, rapidly increasing his altitude. His wife, frightened by her husband's security rope length diminishing, suddenly pulled the rope and thus destabilized the plane. Losing his balance, Asato fell at high speed to finish his first flying experience, landing in the kitchen of his own house.



津嘉山の仕立森

資料集「飛び安里」

- B5版198頁
- 500円
- 岡/町立南風原文化センター
- 電話:098(889)7399



「飛び安里」はどんな人？

「飛び安里」という人物は安里周富(1748~1799)、周富(1765~1823)、周祥(1797~1867)の3人があげられていますが、周富が最も有力です。
安里周富は「ヒハナジ(火花節)安里」と呼ばれ代々首風天府に仕えた花火師でした。安里家は花火師の名人と呼ばれ、王家の祝宴で「松竹梅」の文字が浮かび上がる見事な仕掛け花火を造ったそうです。

Who was "Tobi Asato"?

Three men are brought to mind when mentioning "Tobi Asato" or flyer Asato: Shuto Asato (1748-1799), Shimo Asato (1765-1823) and Shuzo Asato (1797-1867), but most likely it refers to Shuto Asato (1748-1799). Asato was a pyrotechnician that served in Shuri. He was also a famous fireworks master who officiated in Shuri. During royal family banquets, it is said that he was able to create splendid fireworks allowing the three kinds for "Pine, Bamboo and Plum," symbols of happiness, to float in the air.



Many people are the pride of Haeburu : Tobi Asato, the first man to have ever flown, the father of Ultraman, and all the ones that are active overseas...

Pioneers

南風原町の誇り
先人たち



中国革命の闘士
新垣 弓太郎
Yumihiko Arisaki

明治5年南風原町宮城村に生まれた「中国革命の闘士」弓太郎が活躍した舞台は、東京、上海という無風を溢く熱れた所であるため、神輿ではほとんど知られていません。彼は、中国第一革命に失敗し日本亡命した張文(のちの中国革命政府総統)を助け、中国へ入り革命軍の司令官となりました。当時、「蒋介石」は抜擢された青年将校で弓太郎と共に活躍しました。弓太郎はのちに張文から「最重可敬」の匾額を贈られました。



第1回ブラジル移民
金城 山戸
Yamato Kinjo

明治26年南風原村津嘉山に生まれ、1903年(明治41年)第1回ブラジル移民。当時14歳。一掃に移民した2歳年下の船保龍太とは二の親友でした。
日本人初の農科医として活躍。彼は日本人だけでなく現地の人々からも敬愛される人徳者でした。寄しくもブラジル移民90周年の前日、1988年6月17日に95歳でその生涯を閉じました。



第1回ブラジル移民
イッパチ(船保龍太)
Kamata Gibo

明治29年南風原村津嘉山に生まれたイッパチは、日本人で最初の船医になった津嘉山出身の友人、金城山戸氏と明治41年第一回移民としてブラジルへ移住しました。友人である山戸氏は津嘉山へ、イッパチは船医の道へ入り、花形船医として活躍し船医の道を歩きました。また日本人社会の発展に貢献する者としても知られています。南風原町は「夢を解けた」移民の町です。



ウルトラマンを創った男
金城 哲夫
Tatsuo Kinjo

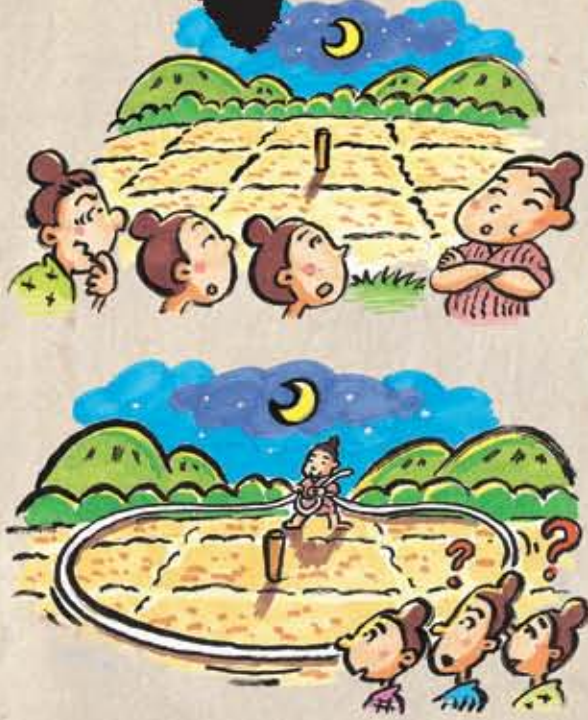
ジラース、チブル星人などの神輿方言を題材にした音楽が登場したウルトラマンの生みの親の一人です。神輿の神輿とよばれる円谷英二のもとで、天才脚本家として活躍しました。神輿日本橋前に神輿し高橋放浪のキャスターや若手の役者や組んで、神輿芝居の脚本や演出を手掛け、作意を志し活動し始めた矢先に「おじくも37才の若さで急逝しました。彼は忘れてはならない南風原の人であり、日本の時代のヒーローを生み出した人なのです。」



©1989円谷プロ

とんち Joke Stories 話

南風原町はむかしから
ひらめきのある人が多い町みたいです。
Since old times, Haeburu seems to be a town
giving birth to many geniuses!



Gambling (Fuka Taira)

In the Kaneshiro district, there was long ago a rice field of nearly 6600m² named Fuka Taira. Young villagers used to go there at night to gamble. "Let's stand a pole in the middle of this rice paddy and gamble on who will be able to lasso the stick with a rope without stepping into the rice field! Many observers complained that it was too hard to be realized. A man then stood up announcing "I can do it!" That was the beginning of the bet. A pole was centered in the field as the challenger brought a really long rope. With the rope's sliding noose in his hand, he walked around the field, and after completing his round started pulling the rope. The circle made by the rope started to get smaller to finally lasso the pole. That is how the man won the bet.



賭け(深タイラー)

昔、最盛の部落に深タイラーという二千坪ぐらいの田んぼがあったそうです。
夜、村の青年たちが集まって賭けをしていました。「あの深タイラーの田んぼの真ん中に棒を立てて、その棒に綱をかけることができるか賭けをしよう。ただし、田んぼの中には一歩も入ってはいけないんだよ」「まさか一歩も入らずにできるわけがない」とロク々に言っていた。すると、一人の男が、「おれにはできる」と名のりをあげた。
そこで、その男と残りのみんなとに分かれ、賭けをすることにしました。できないといった男が、田んぼの真ん中に棒を立ててきた。できると言った者は、長い長い綱を持ってきて、その綱の切り口を持ったまま、田んぼのまわりをぐるぐる歩くと歩いてひと回りした。そして、その綱をつかんでそろそろと引っぱった。
その輪はだんだん小さくなって、ついに棒に巻きついていた。それで、その男が賭けに勝ったという話でした。

部落のシーサー

本部の広場を過って、ずっと上の方へ行くと、そこに都府獅子がある。獅子は大通りから二、三間奥の方の、麓れ野の中にあつた。村の若者たちが集まって、「夜になつたら目隠しして、だれが一番先にあの獅子にたどり着けるか賭けをしよう」ということになった。
すると、知恵者の目痛み男は、昼間のうちにこつそり出かけ、何歩で行けるかを計算し、夜にそなえた。そんなわけで、この男は賭けが始まると、走って行って獅子にさわり、一番になつたそう。



The village shisa

When passing through Motobu square and going all the way up, you will see a district shisa, or lion-dog statue. On the side of the main road, the shisa is situated in a rough field. Youth of the village got together one day. "At night, let's bet by putting a bandage on our eyes and see who will be able to reach the shisa first." The wise man suffering from eye pain secretly got out of his house during daytime, calculated how many steps he would need to reach the goal, and got ready at nighttime. At the spot, he started the game and was the first to reach the statue, therefore winning the bet.

一碗のソーミン

昔、南風原の本部という部落に、知恵のある男がおつた。しかし、どういふわけか男はひどい目痛で、まともに目を開けることができない。もちろん太陽のまぶしさにはたえられないので、いつも下を向いて歩いてた。そんな男に知恵があろうかと疑わしいのだが、この男はなかなかの知恵者だった。

ある日、村の青年たちの集まっているところへ出かけて行って、青年たちに、「君たちはソーミン一碗食べることができるか」と聞いた。すると、青年たちは、「一碗くらいなら簡単に食べられるさ」とばかりにしたように答えた。「それじゃ賭けをしよう。もし食べられなかったら酒三合を私にくれ。食べることができたなら、私がみんなに酒をあげよう」と話が決まり、早速、ソーミン一碗持って来たのである。

選ばれたソーミンは、まん中にお箸を立てて、それにたくさんソーミンを巻きつけてあるので、どうしても食べきれず、とうとう若者たちは酒三合を出すはめになってしまった。



The bowl of somin

A long time ago, in the Haeburu district of Motobu, lived a wise man. However, he had a severe eye disease and was therefore unable to open his eyes. Of course the dazzling sun was too much to cope with, so he was always walking face down. To many, his cleverness was doubtful, but he was in fact a very clever person. One day he went to a spot where youth of the village were gathering. There he asked them if they would be able to eat a bowl of somin (local noodles). The youth answered back mockingly that one bowl wouldn't be a problem. "Well, let's gamble. If you can't finish your bowl, you owe me a bottle of liquor. On the other hand, if you can eat everything, I will treat you all with liquor." The deal was set, no time was lost and the wise man brought a bowl of noodles. Unfortunately for the youth, the noodle-filled bowl had chopsticks vertically inserted on top of it, symbolizing death. There was no way the youth would eat this dish and settled to treat the wise man to a bottle of liquor.

活気ある Administration 行政を。



町長 城間 俊安



副町長 大城 徳次郎



教育長 大城 昇



カナダとの交流

(2000年7月沖縄サミット)

2000年7月に沖縄で開催されたサミットで、カナダのクレティエン首相が南風原町を訪問されました。その記念として南風原町民に記念の石が贈られました。



カナダから贈られた記念石



ひらめきを熟知、着実に行動にうつす町。

現在は、社会性の複雑化、価値の多様化等により、町民一人ひとりのニーズ、要望も多岐にわたる時代ですが、目指すところは同じはず。町では、すべての人が安心して快適な生活、幸せな生きがいのある人生をおくることのできるよう努めています。そのため、役場の窓口を広げ、より多くの人に話を聞いたり、広報活動を充実させ、町民との意志の疎通を図ったりと連絡を密にしています。

町民の声に、柔軟かつ迅速に対応し、創意工夫をこらした積極的な運営をすすめています。



南風原タウンナビ

ココにアクセス!!

- 南風原タウンナビ
1. 生涯に役立つ情報
 2. スポーツ・健康予防の知恵
 3. 今月の行事案内
 4. 地域の情報発信
 5. 公民館

携帯電話から利用できます。以下のアドレスを利用ください。(ドコモ、au、ソフトバンクから利用可)

携帯版 町ホームページ
<http://www.town.haebaru.okinawa.jp/>



一発アクセス! 携帯のバーコードリーダーをご利用の方はこちらから!!



情報満載



南風原町のホームページ

南風原町の事を少しでも知りたいというなら、「はえばるネット」にアクセス。行政のことから、文化、歴史、イベント情報など様々な情報を網羅しており、南風原町のほとんどのことを知ることが出来る。これであなたも南風原通?!

<http://www.town.haebaru.okinawa.jp/>



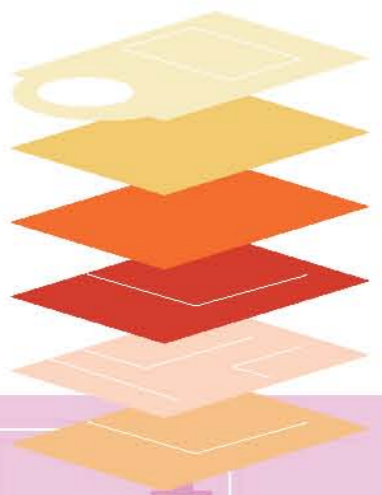
広報 はえばる

南風原町内の動き、情報をわかりやすく紹介した広報誌。毎月、思考を展らした表紙が好評で、南風原町のヒーロー（かぼちゅまんや、ストレッチャーマン、ウーマク星人）などが広報活動に意を添えている。



役場施設のご案内

- 5F 議場・議会事務局
- 4F 教育長室・教育総務課・学校教育課・まちづくり振興課
都市整備課・区画下水道課
- 3F 町長室・副町長室・総務課・企画財政課
- 2F 保健福祉課・こども課・国民年金課
- 1F 住民環境課・税務課・会計課
- B1 書庫・倉庫





議長 金村 正徳



副議長 花崎 重利

議会

Assembly



町民の声を行政に活かす。

南風原町議会は、16人の議員で構成されています。議員は町民の代表として選出され、町政の円滑な運営、町民が安心して生活できるように条例や予算等を提案、議決します。定例会は年4回開かれ、必要に応じて臨時議会が開かれます。また、本会議の他、三つの常任委員会（総務財政・経済建設・教育民生）があります。



役場ロビーでの情報
町民との1対1で議会の生放送を視聴
することができます。



Listening to and acting on citizen voices at the administrative level

The assembly of Haabaru Town is composed of 22 assemblymen. Elected as representatives by the townspeople, they smoothly manage the town administration, propose and vote on regulations and budgets for town residents to live in the best conditions. Regular meetings are open four times a year, with extraordinary meetings held when needed. Also, next to the main assembly are three standing committees deliberating on "general affairs & finances," "economy & construction" and "education & public welfare."



資料編 DATA

■土地・気候・人口・財政.....45~46	■町歌・町民音頭.....48
・住民基本台帳人口と世帯数の推移	・南風原町歌
・年齢別世帯別人口	・南風原音頭
・年齢別区分別人口割合の推移	■南風原のあゆみ.....49~50
・町の位置及び面積	■テレホンガイド.....51~52
・平成18年月別気温と湿度及び降水量	・町の公共施設
・町内の河川	・国の公共施設
・主な丘陵	・県の公共施設
・平成17年度一般会計決算	・その他の施設
・町民税の内訳	
■歴代四役・歴代議長・副議長.....47	■標榜図.....53
・歴代町長	・南風原町行政標榜図
・歴代町副長	
・歴代収入役	■目で見る南風原.....54
・歴代教育長	
・歴代議長・副議長	

南風原町「町民憲章」

私たちは、南風原町民であることに誇りを持ち、
みんなの力をあわせ、明るく、豊かで、住みよい町を
つくるため、すすんで次のことを実行しましょう。

一、私たちは、教育を大事にし、
文化のかけ高い町をつくりましょう。

一、私たちは、自然を愛し、みどり豊かな
美しい町をつくりましょう。

一、私たちは、健康で明るい家庭を
つくりましょう。

一、私たちは、きまりと時間を守り、
住みよい町をつくりましょう。

一、私たちは、よく働き、よく学び、
豊かな町をつくりましょう。

（昭和五十八年四月日制定）

●歴代町村長

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	仲里 徳太郎	明治41年4月	津嘉山
2代	与那嶺 甚先	45年4月	宮城
3代	神里 多一郎	大正5年10月	山川
4代	神里 多一郎	9年10月	〃
5代	神里 吉三郎	13年8月	〃
6代	仲本 亀五郎	昭和3年8月	兼城
7代	仲本 亀五郎	7年8月	〃
8代	金城 栄禮	12年5月	喜屋武
9代	金城 栄禮	16年5月	〃
10代	与座 章三郎	21年4月	津嘉山
11代	照屋 善清	23年3月	神里
12代	照屋 善清	25年10月	〃
13代	金城 広太郎	29年5月	津嘉山
14代	金城 広太郎	33年5月	〃
15代	赤嶺 保信	37年5月	喜屋武
16代	赤嶺 保信	41年5月	〃
17代	野原 広仁	45年5月	〃
18代	大城 徳盛	49年5月	照屋
19代	大城 徳盛	53年5月	〃
昭和55年4月1日町政移行			
初代町長	大城 徳盛	昭和55年4月	照屋
2代	大城 徳盛	57年5月	〃
3代	金城 義夫	61年5月	津嘉山
4代	金城 義夫	平成2年5月	〃
5代	金城 義夫	6年5月	〃
6代	城間 俊安	10年5月	〃
7代	城間 俊安	14年5月	〃
8代	城間 俊安	18年5月	〃

●歴代教育長

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	新垣 照行	昭和47年5月15日	与那嶺
2代	新垣 照行	48年4月1日	〃
3代	新垣 照行	52年4月1日	〃
4代	新垣 照行	56年4月1日	〃
5代	照屋 善一	56年6月13日	神里
6代	照屋 善一	60年4月1日	〃
7代	中村 清	62年4月1日	宮平
8代	中村 清	平成元年4月1日	〃
9代	中村 清	5年4月1日	〃
10代	神里 富夫	9年4月1日	津嘉山
11代	大城 昇	13年4月1日	〃
12代	大城 昇	17年4月1日	〃

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	神里 吉三郎	明治41年4月	山川
2代	神里 吉三郎	45年4月	〃
3代	神里 吉三郎	大正5年10月	〃
4代	神里 吉三郎	9年10月	〃
5代	大城 喜四郎	13年8月	津嘉山
6代	金城 栄禮	昭和3年8月	喜屋武
7代	金城 栄禮	7年8月	〃
8代	与座 章三郎	12年6月	津嘉山
9代	与座 章三郎	16年6月	〃
10代	神里 昌慶	21年4月	山川
11代	金城 広太郎	23年3月	津嘉山
12代	金城 広太郎	25年10月	〃
13代	赤嶺 保信	29年5月	喜屋武
14代	赤嶺 保信	33年5月	喜屋武
15代	大城 徳盛	37年5月	照屋
16代	大城 徳盛	41年5月	〃
17代	大城 徳盛	45年5月	〃
18代	赤嶺 英助	49年6月	宮平
19代	赤嶺 英助	53年6月	〃
20代	赤嶺 英助	57年6月	〃
21代	赤嶺 英助	61年6月	〃
22代	大城 茂	平成2年6月	兼城
23代	大城 茂	6年6月	〃
24代	大城 徳次郎	10年6月	本部
25代	大城 徳次郎	14年6月	本部
26代	大城 徳次郎	18年6月	〃

●歴代議長・副議長

歴代	職名	就任年月	備考
1	議長	大城 森	兼城
	副議長	与座 章三郎	津嘉山
2	議長	与座 章三郎	〃
	副議長	中村 義永	宮平
3	議長	新垣 孝亀	与那嶺
	副議長	金山 善律	津嘉山
4	議長	新垣 孝亀	与那嶺
	副議長	金山 善律	津嘉山
5	議長	仲里 清善	〃
	副議長	新垣 孝亀	与那嶺
6	議長	大城 亀吉	宮平
	副議長	吉村 正一	津嘉山
7	議長	神里 富夫	山川
	副議長	吉村 正一	津嘉山
8	議長	吉村 正一	〃
	副議長	大城 栄吉	宮平
9	議長	吉村 正一	津嘉山
	副議長	大城 茂	兼城
10	議長	大城 茂	〃
	副議長	知念 政賀	大名
11	議長	大城 誠守	神里
	副議長	大城 春喜	喜屋武
12	議長	大城 新次	兼城
	副議長	野原 広造	喜屋武
13	議長	城間 俊安	津嘉山
	副議長	大城 栄一	本部
14	議長	新垣 善清	与那嶺
	副議長	中村 勝	宮平
15	議長	城間 兵勝	兼城
	副議長	中村 静枝	兼城
16	議長	金城 成長	津嘉山
	副議長	花城 清和	新川

南風原町歌

♩=104 はつらつと

あけゆくあさよ なんごくのそら
に かがやく ひのひかり
あふれるのぞみ はつらつと
ああやくしんの くもがとぶわれ
らがきょうど は え ばる ちよう

南風原町歌

作詞 南 益子
作曲 田場 盛徳
編曲 与座 章三郎

明けゆく朝よ 南国の
空にかがやく 陽の光り
溢れる希み はつらつと
あゝ 羅達の 雲が飛ぶ
われらが郷土 南風原町
はたらく汗よ 建設の
ちから寄せ合う 意気と熱
そよ吹く風も さわやかに
あゝ 生産の 歌が湧く
われらが郷土 南風原町
伸びゆく夢よ 沖繩の
明日を呼んでる 自治の郷
黄金の森も 美しく
あゝ人の和の 花が咲く
われらが郷土 南風原町
(昭和46年4月18日制定)

南風原音頭

リズムカルに
かすりむすめの えがおにあげて フゲンビレアが さきにおー
こははえはる かすりのさとよ ゆたかな ーまーちのー
ゆめをおーる ー ゆめをおーる サツサ はえはるおんどは へいわのおんど
みんなそろって うたえやおどれ ユリテイクーユリテイク ドンミカセ サツサ
ヒヤー ー ヨイ ハー イヤ イヤサツサ

南風原音頭

作詞 中村 弘
作曲 南風原音頭選定委員会
編曲 照屋 林賢

① かすり娘の
ブーゲンビレアが 笑顔にあげて
こははる南風原 咲き匂う
豊かな町の 夢を織る
サツサ
南風原音頭は 平和の音頭
みんなそろって うたえやおどれ
ユリテイク ユリテイク ドンミカセ
サツサ
ヒヤー ヨイ ハー イヤ イヤサツサ
(以下各節はヤシ略)

② きみは南風で
かれはハウスの
土の香りが
舞う汗も
黄金森には
盆の踊りも
たのし獅子舞
燃えて景気も

③ 今昔の
天女の伝説の
巡りたずねて
誓う心は
わした南風原
心ひとつに
踊る手と手が
町は文化の

④ 浦島太郎
御宿井
悲風の丘に
祈和の塔
うね御万人は
うちとけて
赤穂世まねき
花さかり

⑤ 十五夜お月
にぎやかに
あの綱曳きに
湧きあがる

(四分二十九秒)



南風原のあゆみ

年	月日	沿革
明治41年	4	町村制施行に伴い、前令第48号によって間切を村に改め、南風原村となる
昭和16年	4/1	南風原小学校を南風原国民学校に改称する
昭和20年	5	南風原国民学校機災により焼失
昭和21年	1/23	南風原村役所設置する(大見武に)
	2/1	南風原小学校開校、大見武において挙行する
	4/20	南風原村農協組合設置される
	10/12	南風原小学校敷地に村役所を配置する
昭和22年	8	南風原村婦人会結成する
	8	南風原村青年連合会結成する
昭和23年	4/1	南風原村校舎復興期成会結成
	4/1	学制改革により6・3・3制が実施され、南風原中学校が創立される
昭和25年	9/1	南風原村役所の新庁舎が敷地に落成(現南風原小学校敷地)
	9	南風原村に納骨堂をつくり、1003柱の慰霊祭を行なう
昭和26年	4/1	南風原村大名分離し宇となる
	8	村農協改良委員会設置
昭和27年	4/28	納骨堂の全遺骨を火葬し、納骨祭を行なう
	5/11	南風原区教育委員会誕生する
昭和28年	7/11	南風原小学校鉄筋コンクリート校舎落成
	10/10	南風原村農協連同組合より津嘉山農協連同組合分離する
昭和29年	12/1	津嘉山、原屋、本郷、喜屋武、兼城、宮平、与那覇の7部衝配電により、点灯
昭和30年	3	山川、神屋、并配電により点灯
	7	宮城、大名、并配電により点灯
昭和32年	2	新川、并配電により点灯
	3	南風原土地改良組合創立
昭和34年	9	南風原村役所鉄筋コンクリート新庁舎落成(現庁舎)
昭和35年	10/15	南風原村に県立権和病院建設工事着工
昭和36年	1	宮城公民館落成祝賀会
	8	南風原中学校鉄筋コンクリート校舎落成
昭和38年	9	南風原村に慰霊塔竣工
	9/17	南風原村老人クラブ連合会結成
昭和40年	8/1	南風原小、中学校完全給食実施する
昭和41年	3	南風原健康センターに急風の丘記念碑竣工
	6	南風原村敷地に慰霊新和の塔竣工
	6	役場コンピューター導入(沖縄で初めて)
昭和44年	3/14	南風原村青少年健全育成協議会発足
	12/14	南風原小学校体育館落成する
昭和45年	7	大名の康文仁家の墓、有形文化財として県指定
昭和46年	4/18	村歌・村章が制定される
	8/10	南風原村史発行する
	10/1	村立宮平保育所落成
昭和47年	3/17	南風原小、中学校運動場整備着工
	5/15	本土復帰により南風原村役所を校場に改称
	5/15	本土復帰により南風原教育区教育委員会が南風原村立教育委員会となる
	5/18	通貨切替(ドルが5円へ)
	10/1	献血業務開始(大型消防車購入)
	10/1	国民健康保険制度を実施する
	10/1	農協委員会設置する
昭和48年	4/1	村立幼稚園(宮城、兼城、宮平、本郷、原屋、津嘉山)
昭和49年	3/31	村立幼稚園園舎落成(南風原、津嘉山)
	10/27	南風原中学校体育館落成
	11/27	南風原村総合計画策定される
昭和50年	4/1	南風原村立津嘉山小学校開校

年	月日	沿革
	8/1	津嘉山小学校、南風原小学校より分離
	8/29	南風原村社会福祉協議会設立
	8/29	東部消防団制度開始
昭和51年	4/1	東部消防本部設立
	10/29	神屋地区土地改良事業着工
	10/30	かばちゃ特産地宣言
	10/30	神屋児童公園完成
昭和52年	3/30	学校給食共同調理場落成
	10/18	琉球かすりの屋宣言
	11/1	県営第一南風原団地入居
	11/5	南風原村商工会結成
	12/8	住宅供給公社分譲団地入居
	12/10	津嘉山小学校体育館完成
昭和53年	2/25	南風原村立中央公民館落成
	4	端末機(コンピューター)導入
	10/10	南風原町体育協会 文部大臣から表彰される
	10/26	県営第二南風原団地入居
昭和54年	1/21	南風原村が国から「琉球かすり」の産地に指定される
	7/19	南風原村交通安全推進協議会結成される
	12/26	南風原中学校生徒による模擬議会開催される
昭和55年	3	南風原小学校プール完成
	4/1	南風原町として町制が施行される
	4/12	琉球かすり会館落成
	4/28	第1回南風原まつり開催
	7/19	南風原町立津嘉山地区公民館落成
昭和56年	4/1	南風原小学校の校区の一部変更により、第二団地を津嘉山小学校へ編入
	5/8	社会福祉センター落成
	5/20	津嘉山小学校プール完成
	8/25	南風原町身体障害者福祉会結成
	11/12	映画「ひめゆりの塔」旧版軍病院跡で撮影始まる(28年ぶり)
昭和57年	2/27	南風原町献血推進協議会結成
	3/29	「非核平和の町」宣言
	4/1	東部消防組合南風原分遣所の新庁舎完成する
	4/7	南風原町立北丘小学校開校
	6/25	南風原町交通安全協会の会館落成される
	8/7	津嘉山大綱曳き10年ぶりに開催
	9/1	北丘小学校、幼稚園の落成(南風原小学校、幼稚園より分離)
	12/25	町の木にリュウキュウコクタン、町の花にブーゲンビレアが制定される
昭和58年	1/27	健康づくり推進協議会発足
	4/1	「町民憲章」制定
昭和59年	1/19	宮平川河川改修工事開始
	3/25	第1回南風原町社会教育大会開催
	4	町教育委員会文部大臣より表彰
	9/8	団体南風原町実行委員会設立
昭和60年	8/26	南風原町総合計画審議会発足
	11/29	第1回南風原町社会福祉大会開催
	12/7	第2回南風原まつり開催
昭和61年	3/8	第1回こどもまつり開催
	3	第二次南風原町総合計画策定
	5/1	南風原高校開校
	6/28	第1回町民健康まつり開催
	10/8	全国学校給食研究大会で津嘉山小学校が文部大臣表彰される
	11/29	団体リハーサル大会開催

南風原のあゆみ

年	月日	沿革
昭和62年	2/28	南風原勤労者体育センター落成
	3/31	原屋農村コミュニティセンター落成
	3/31	町の人口2万5千人突破
	4/1	南風原中学校開校(南風原中学校より分離)
	6/5	外国人英語教師招へい
	8/7-28	「飛び安里」展開催
	10/6-30	海邦国体開催(成人女子バスケットボール)
昭和63年	3/17	番所跡にテニスコート完成
	4/1	学校教育指導主事配置
	6/6	琉球耕種農協審議会設置
	8/6-31	第1回南風原町福祉まつり開催
	8/9	学校給食調理場移転落成式
	10/1	北丘ハイツ自治会誕生
平成元年	4/21	南風原町赤十字奉仕団結成
	5/1	印鑑証明書発行オンライン化
	8/3	町出身南米留学生受け入れ事業スタート
	11/3	南風原文化センターオープン
平成2年	1/17	町道10号線道路改良工事起工式
	4/1	町制施行10周年記念式典
	4/28	北丘児童館落成式
	6/2	本部公園オープン
	6/27	「南風原陸軍病院跡」を町文化財に指定
平成3年	4/5	翔南小学校(幼稚園)開校(園)
	4/20	兼城児童館落成
	8/17	飛び安里初飛翔顕彰記念碑が完成
	11/5	中央公民館が文部大臣賞を受賞
	11/6-29	土のダスク、クニンドー遺跡が見つかる
平成4年	4/18	本部児童館落成
	5/1	住民課で昼休み時間中の窓口業務開始
	5/27	南風原共同福祉施設完成
	7/7-16	10年ぶりに津嘉山大綱曳きが行われた
平成5年	4/17	津嘉山児童館落成
	8/7-8	愛媛県八幡浜市で、南風原の物産展を開催
	8/12-21	第1回国際交流団として中高生10名がハワイへ
平成6年	2/26	公民館まつりで第一回ウチナーグチ大会を開催
	6/1	在宅介護支援センターが開所
	8/23	JA津嘉山がストレリチアの産地宣言
	9/18	本部・喜屋武・原屋を結ぶ、かすりの道完成
平成7年	1/24	琉球耕種事業協同組合20周年事業で、かすりの歌「夢織人」を披露
	3/1-12	第2回町民劇場で「黄金南風の詩」上演
	4/1	宮城公園オープン
	6/4	町民劇団の黄金森劇団が結成
	7/3	ごみの5種類分別門口収集がスタート
	8/1	県立公文書館オープン
平成8年	3/25	ハワイ南風原町人会が初来県
	4/1	共同作業所「はんどはんど」が福祉センター内にオープン
	7/24	第三次南風原町総合計画策定
平成9年	6/21	南風原国民学校の卒業式が52年ぶりに行われる
	8/6-10	平和創造劇「卒業証書」を町民で上演
	8/10	南風原町ジュニアリーダークラブ結成
	8/18	南風原町の人口が3万人に
	8/24	町婦人連合会が結成50年を迎え、名称を町女性連合会に改めた
	12/15	南風原町商工会設立20周年記念式典開催
平成10年	2/14	古紙をリサイクルした「かすりペーパー」発売
	3/21	役場新庁舎落成式

年	月日	沿革
	6/2	子どもエコクラブ県内初の誕生
	10/27	町女性連合会が環境庁長官賞受賞
平成11年	3/1	地域振興券交付
	3/20	宮平保育所完成
	6	ごみ袋指定化スタート
	7	町史「第2巻」・「第3巻」発刊
平成12年	4/1	町政施行20周年
	4/21	カナダ首相を訪問町民210名カナダへ
	6	男女共生社会を創る懇話会設立
	7	南風原の自然と地理発刊
	7/21	沖縄サミット、クレティエン首相来町
	8/6-20	第3回町民劇場「弓太郎幻想」上演
	11/6-5	南風原・アジア耕種まつり
平成13年	4/28	黄金森公園・陸上競技場オープン
	7/1	宮平ハイツ自治会結成
	7	町議会史発刊
	9/15	第1回「小中学生陸上競技大会」
平成14年	3	男女共同参画計画「まじゅんプラン」策定
	4/1	学校週休5日制始まる
	4/1	町情報公開制度・個人情報保護制度スタート
	6/30	ホッケー日本リーグ「日光アイスバックス」が来町。交流試合が行われる
	7/8	東部消防南風原出張所落成
	8	住基ネットスタート
	10/6-1	青少年交際交流事業、初めてカナダへ
平成15年	3/16	与那覇コミュニティセンター落成
	6/30	カナダレスブリッジ市と友好都市締結
	8/18	市町村合併に向け、各字との意見交換会始まる
	9/9	市町村合併に向けての住民アンケート実施
	10/17	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会設置
平成16年	3/1	南風原幼稚園新園舎完成
	4/9	琉球耕種・南風原花織町無形文化財認定
	9/1	南風原小学校新校舎完成
	9/29	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会解散
	10/2	黄金森野球場オープン
	10/26	南風原かばちゃ特産地認定
平成17年	1/12	町財政健全化計画・町職員適正化計画策定
	2/5	花・水・緑の大回廊公園オープン
	4/1	町制施行25周年記念式典
	6/22	ストレリチア特産地認定
	7/1	昼休みの窓口業務拡大
	10/6-1	琉球耕種事業協同組合設立30周年記念事業
	12/1	ごみ分別変更 プラスチック類が燃えるごみへ
	12/17	映画館「サザンプレックス」オープン
平成18年	1	国勢調査速報結果 町人口33,538人
	2/12	津嘉山幼小創立30周年
	4/1	那覇・南風原クリーンセンター稼働
	4/16	県立南部医療センター・子ども医療センター開院
	4/16	南風原町長選挙 城間俊安氏3選
	5/9	カナダレスブリッジ市制100周年へ町民35人が訪問
	9/10	町議会議員選挙 議員定数22名が16名へ
	9/22	新川に那覇バス新社屋オープン
	12/21	南風原中学校新校舎完成
平成19年	3	第4次南風原町総合計画策定

テレホンガイド

■町の公共施設 (市外局番098)

名称	所在地	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話番号
南風原町役場	南風原町字兼城686番地	6,320	7,247	889-4415
学校給食共同調理場	〃 宮城248	8,944	1,156	889-3691
町立宮平保育所	〃 宮平785	2,933	702	889-3920
町立公民館				
中央公民館	〃 兼城689	4,454	2,263	889-0568
津嘉山地区公民館	〃 津嘉山343	3,391	1,228	889-1435
町立幼稚園				
南風原幼稚園	〃 兼城684	4,380	1,333	889-4101
津嘉山幼稚園	〃 津嘉山684	5,496	681	889-4559
北丘幼稚園	〃 宮平336	6,007	542	889-6815
翔南幼稚園	〃 喜屋武381	5,120	445	889-7133
町立小学校				
南風原小学校	〃 兼城685	22,626	8,255	889-2088
津嘉山小学校	〃 津嘉山684	19,608	7,306	889-1230
北丘小学校	〃 宮平336	45,551	7,857	889-6520
翔南小学校	〃 喜屋武450	36,600	6,768	889-3401
町立中学校				
南風原中学校	〃 兼城780	26,223	9,163	889-2095
南星中学校	〃 照屋200	36,406	10,024	888-0432
文化センター	〃 兼城716	1,201	1,376	889-7399
社会福祉センター	〃 照屋1	4,604	1,488	889-3213
琉球かすり会館	〃 本部157	1,814	766	889-1634
農村コミュニティセンター	〃 照屋134	525	292	889-6632
与那覇コミュニティセンター	〃 与那覇59	2,183	433	889-2259
兼城児童公園	〃 兼城170	1,563	13	
本部近隣公園	〃 本部352	17,717	14	
宮城近隣公園	〃 宮城242-3	20,618	65	
神里ふれあい公園	〃 神里712-1	10,375	45	
黄金森公園	〃 宮平718-1	132,069	3,140	835-6755
北丘児童館	〃 宮平489-1	696	295	889-3883
兼城児童館	〃 兼城84	601	328	889-6114
本部児童館	〃 本部116	977	370	889-5008
津嘉山児童館	〃 津嘉山663-1	898	405	888-2925

■国の公共施設 (市外局番098)

名称	所在地	電話番号
南風原郵便局	南風原町字兼城684番地の9	889-0720
津嘉山郵便局	〃 津嘉山1462番地の2	889-0702
宮平郵便局	〃 宮平258番地の3	888-3533

テレホンガイド

■県の公共施設 (市外局番098)

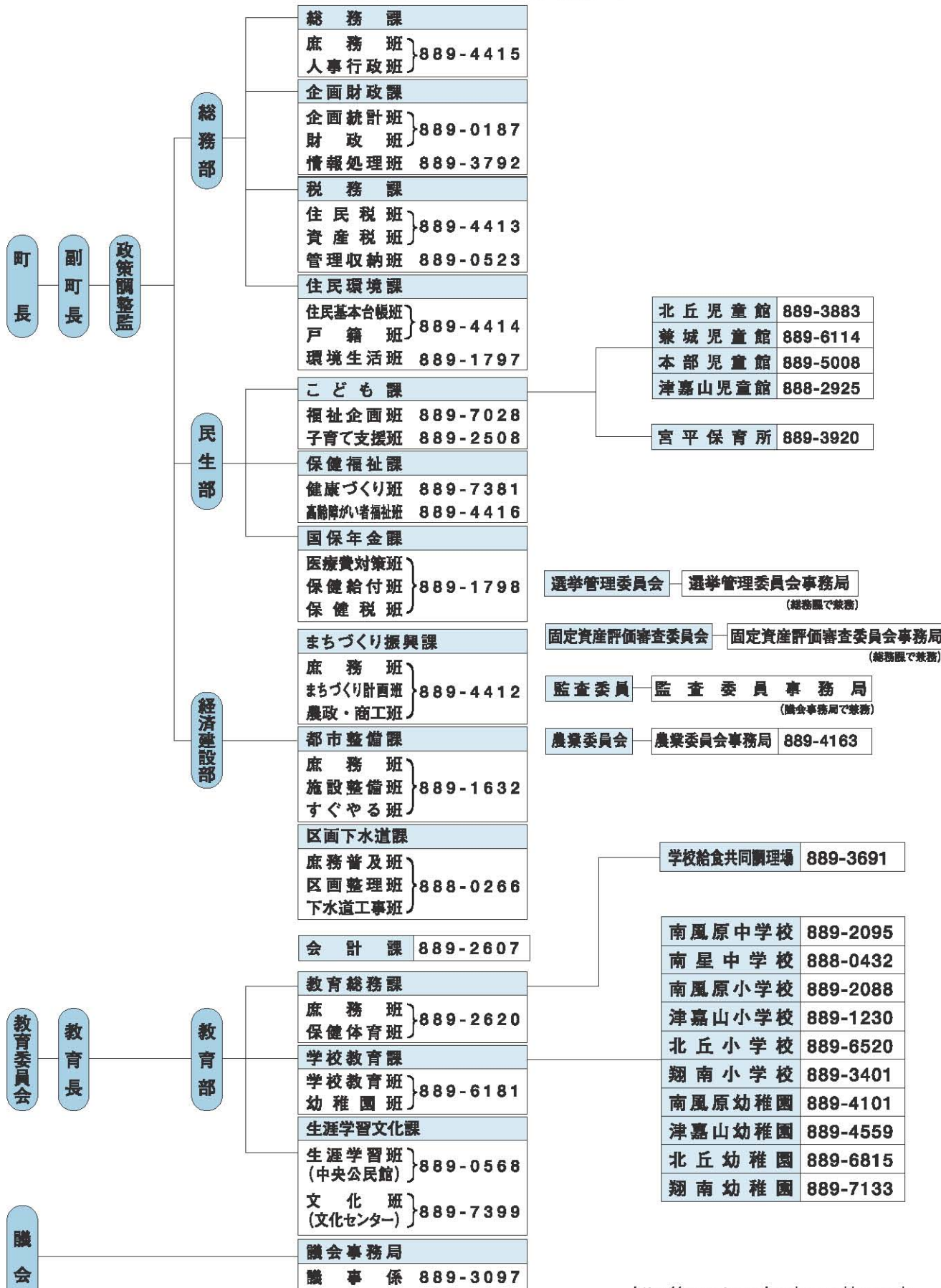
名称	所在地	電話番号
農業試験場蔗作室	南風原町字新川168番地	889-5024
南部農業改良普及センター	〃 山川517	889-3515
南部林業事務所	〃 新川135	889-1270
工芸指導所	〃 照屋213	889-1186
計量検定所	〃 新川272	889-2775
南風原高校	〃 津嘉山1140	889-4618
開邦高校	〃 新川646	889-1709
沖縄盲学校	〃 兼城468	889-5375
精和病院	〃 新川260	889-1390
兼城交番	〃 兼城125-3	889-3892
津嘉山駐在所	〃 津嘉山577	889-3862
南部保健所	〃 宮平212	889-6351
総合精神保健福祉センター	〃 〃	888-1443
沖縄県公文書館	〃 新川148-3	888-3875
沖縄県立てるしのワークセンター	〃 宮平206-1	889-4011

■その他の施設 (市外局番098)

名称	所在地	電話番号
南風原町社会福祉センター	南風原町字照屋1番地	889-3213
おきなわ希望の家	〃 神里631	889-4102
おきなわ太陽の町	〃 〃	889-5321
沖縄中央育成園	〃 宮平548-1	889-4100
よもぎ学園	〃 宮平550	889-6011
南風学園	〃 宮平540	889-4878
東部消防組合本部	〃 与那覇226	945-2200
東部消防署南風原出張所	〃 津嘉山966	889-5174
南風原共同福祉施設	〃 本部158	889-6889
勤労者体育センター	〃 山川196	
南風原町商工会	〃 本部158	889-6121
沖縄県土地改良事業団体連合会	〃 本部453-3	888-4511
沖縄県農業協同組合南風原支店	〃 山川526	889-3923
沖縄県農業協同組合津嘉山支店	〃 津嘉山343	889-5525
那覇市環境業務課	〃 兼城590	889-3092
那覇市清掃工場	〃 新川641	889-0594
那覇市リサイクルプラザ	〃 新川641	889-5317
JA南風原支店野菜集出荷場	〃 山川518	889-3925
JA南風原支店花卉集出荷場	〃 山川519	
JA南風原支店育苗センター	〃 山川522-3	
JA津嘉山支店集出荷場	〃 津嘉山33	889-4860
JA津嘉山支店堆肥センター	八重瀬町字外間153-2	998-4143

南風原町行政機構図

☎市外局番 (098)



<http://www.town.haeburu.okinawa.jp>

目で見る南風原

人口密度
(H18・12月末)



1km²に3,140人

世帯人数
(H18・12月末)



1世帯に3.0人

転入
(H18・1~12月)



1日に5.3人

転出
(H18・1~12月)



1日に4.6人

出生
(H18・1~12月)



1日に1.2人

死亡
(H18・1~12月)



2日に1人

結婚
(H18・1~12月)



2.0日に1カップル

離婚
(H18・1~12月)



5.6日に1カップル

ゴミ収集量
(H17年度)



1月1人当たり21.9kg

水道使用量
(H17年度)



1日1人当たり327ℓ

火災
(H18・1~12月)



年8件

救急出動
(H18・1~12月)



年1,187件

1日に3.3件

原動機付自転車
(H18・4・1現在)



2.9世帯に1台

一般会計の決算
(H17年度)



歳出=114億9,183万円

1人当たり34万6,389円

町の借金
(H17年度)



11億2,150万円

1人当たり3万4,560円

町税負担
(H17年度)



1人当たり8万195円

医師〈歯科医師含む〉
(H18・12月末)



町民367人に1人

町職員
(H18・4・1現在)



213人
167人に1人

町議会議員
(H18・12月1日現在)



16人
町民2,100人に1人





その笑顔を、
世界に広げたい。
未来につなげたい。

IMAGINE

— 未来創造 —

人が輝くと、町が輝く。町が輝くと、
人が輝く。人と町がひとつになって、
夢と希望に溢れた未来を創っていく…。
ひとりひとりがヒーローです。

Sending these smiles to the world, connecting
with the future, we are building our future.
When people sparkle our town glitters, and vice-versa. With
people and town becoming one, we work together at realizing
our dreams and hopes thus all becoming heroes.



2007 南風原町勢要覧

2007 南風原町勢要覧

発行：2003年 9月 改定：2007年 3月

編集：南風原町役場企画財政課

発行所：南風原町役場

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地

☎ (098) 889-0187

<http://www.town.haebaru.okinawa.jp/>

印刷：有限会社サン印刷

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地

☎ (098) 889-3679 (代)